

# 病院アートを活用した心身の健康促進モデルの開発

## 社会の現状・課題

- ・県民の野菜摂取量は大幅に改善、野菜摂取意識は高まる一方、外食では炭水化物・揚げ物に偏重。→**食の改善**
  - ・県民の健康寿命は男性44位、女性43位(同)、運動不足が原因。糖尿病死亡率は全国8位(同)、生活習慣の影響大。→**食・運動の改善**
  - ・大学病院の入院患者は60歳代以上が全体の約6割(同)。→**高齢者への配慮**
- ⇒総合的な解決策の確立必要

## 病院アートの現状・課題

- ・病院内ギャラリー設置は全国的に増加、展示内容の検討は不十分。
  - ・壁面等内装の工夫は小児科病棟・外来が中心、子ども向けのデザインが多い。
  - ・臨床美術、アートセラピーは患者参加型の創作活動中心。
- ⇒地域に合致した導入法の確立必要

## 地域に根差したアートの導入・活用による包括的解決

### 食による健康

- ・とくしま食のパレット展  
(食材・ヘルシー料理写真作品、ブリザーブド野菜作品、レシピ開発)
  - ・展示コラボ企画  
(飲食店との連携：メニュー提供、店舗展示の提案等)
- ⇒視覚と食欲の刺激によるヘルシー食への誘い

### 運動による健康

- ・階段アートプロジェクト  
(各階段室の階段、壁、踊り場におけるアート作品の学生との共同制作)
- ⇒階段を歩く楽しみの提供による運動促進

### 心の安らぎによる健康

- ・ウォールアートプロジェクト  
(病室壁面・天井、待合スペース壁面へのアート作品の導入)
- ⇒見る楽しみの提供による緊張や不安の緩和

「とくしま食のパレット-春-」展  
(2018/1/29~2/24開催  
@徳島大学病院)



反応検証、効果測定、評価  
(アンケート、投票、聞き取り、映像解析、観察等)

## 大学病院における医芸連携モデルの確立

県下・全国の医療機関への普及・拡大

書籍刊行

予防医学研究

学会発表、論文発表

ヘルスツーリズム提唱

健康寿命向上

アート作品・グッズ開発

飲食店へのヘルシー食レシピ提案

アートセラピー研究